議事録2017/1/22

1、

市ごとの大学進学率を市別の奨学金制度が持つ諸々の変数に回帰するよ、平均所得とか入れてみたり。

市ごと年度別の奨学金受給者数、貸与はいくら、給付はいくら、給付があるか、そもそもあるか、jassoと併用できるか、もらえる所得の目安、のデータを集めてパネルデータを作成。

奨学金受給者数（おあ大学進学者数）あたりを従属変数にして、各変数にパネルデータとして回帰をする。

その際には仕事の固定効果を入れて、別に奨学金がなくても進学してた学生の数を抜く

回帰はカウントデータだからポワソン回帰？（普通のでもいいかも）

それで給付型のダミーが優位になったら嬉しいな。

給付かどうかと奨学金の額は内生成のチェックのために、前年度の市のdemographicなデータから予測できるかどうかのチェックを行う。

もし内生的ならIVを使う。

欠損はCARなので、データから削除すればよし貸与はいくら

5年分の全国の市町村のパネルデータ

→

池上は北海道、徳田は沖縄からスタート

（県固定効果入れてみたり）

2、

1種2種の中でも申請してくる金額によって分布に差があるかな？

→これはJassoのデータ向けにやるよ。